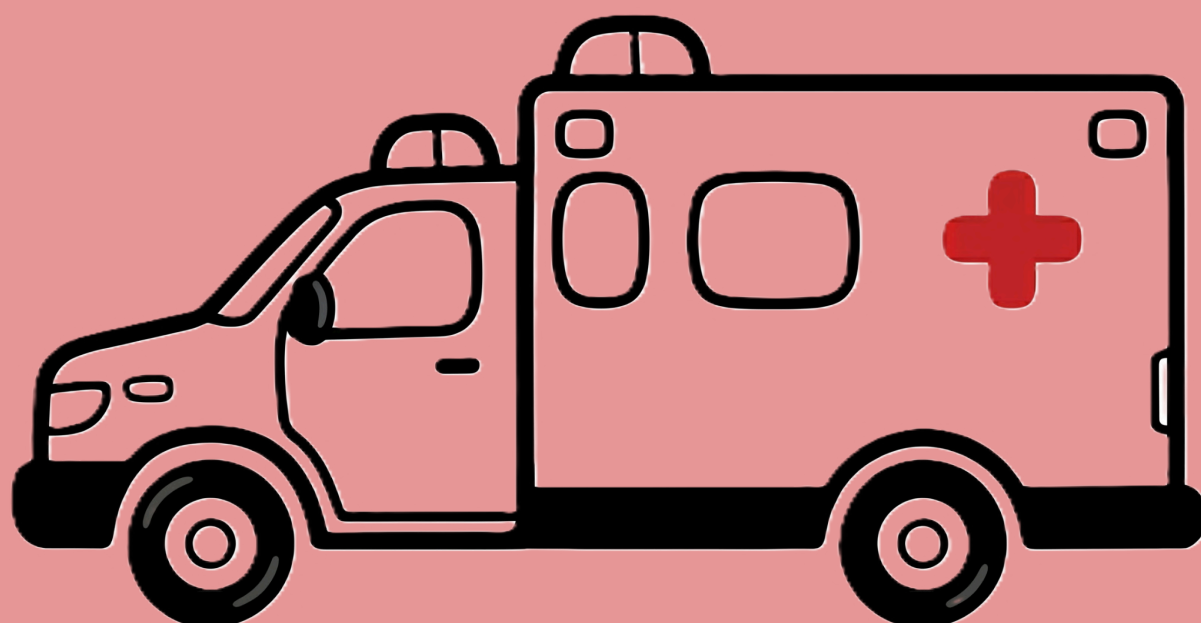


くすの木病院 連携だより

relation@



地域に根ざす救急医療体制のさらなる強化へ

迅速な評価と専門医連携で、安心のバックアップを

2026年夏号



地域に根ざす救急医療体制のさらなる強化へ

～迅速な評価と専門医連携で、安心のバックアップを～

地域医療の最前線でご尽力されている先生方、いつも多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。現在、くすの木病院では、地域の先生方が急を要する症例で判断に迷われた際、即座に「次の一手」を打ち出せるよう、救急受入体制の最適化を推進しております。

検査機能の充実と各科専門医の連携を活かし、先生方の日常診療を支える確実なパートナーでありたいと考えています。

【救急受入の質を支える3つの柱】

当院では、紹介いただいた患者様を安全かつ円滑に治療の軌道に乗せるため、以下の運用を徹底しております。

① 客観的エビデンスに基づく迅速な評価

救急受入時、当直医個人の経験にのみ依存するのではなく、CT画像や血液検査等の即時診断環境を最大限に活用します。深夜・休日であっても放射線技師・臨床検査技師との密接な連携体制を構築しております。客観的なデータを迅速に集約することで、病態の正確なトリアージを行い、受入判断から初動対応までの診療時間を最小限に抑えています。

② 専門医(主治医)へのコンサルテーション原則

当院の救急診療の根幹は「安全第一」です。初期診察の結果、専門的な管理や入院が必要と判断された場合には、時間帯に関わらず速やかに各科専門医へコンサルテーションを行います。当直医と専門医が情報共有を実践することで、リスクを最小化し、紹介元の先生方への安心を提供いたします。

③ 専門治療・社会復帰へのシームレスな移行

夜間に受け入れた症例は、翌朝の診療チームカンファレンスにて共有され、担当チームへ引き継がれます。正確な初動評価に基づき、専門医が直ちに具体的な治療・手術計画を策定。早期からの積極的なリハビリテーション開始も含め、診断から社会復帰までを最短距離で繋ぐ体制を整えています。

【新体制紹介：整形外科チームの機動力拡充】

この救急受入の強化、ならびに専門外来・手術体制の拡充を実務面から支える「新しい力」として、本年4月より整形外科チームに 金子 聡也(かねこ そうや)医師 が加わりました。

金子医師は、骨折等の外傷対応を含めた整形外科全般に広く対応しています。

金子医師の着任により、当院の整形外科は「高度な専門性」と「幅広い受け入れ能力」をさらに高め、先生方のご期待にこれまで以上のスピード感でお応えできる体制を整えました。

入院や手術の必要な症例をぜひご紹介頂ければ幸いです。



【もっと伝えたい！】

施設・クリニック様との「救急連携」をスムーズにするために

救急搬送の際、迅速な治療開始を左右するのは「情報」です。

特に施設入所中の方や継続通院中の患者様については、以下のご準備を推奨しております。

1. 情報の集約化：救急搬送を想定した、既往歴・内服薬・アレルギー等の情報をまとめた情報提供書（救急サマリー）の常備。
2. 意思決定の確認：急変時のご本人、ご家族の意向が事前に把握されていると、より円滑な対応が可能です。
3. 連絡体制の明確化：搬送時のキーパーソンの連絡先、施設担当医との連絡方法が明確であれば、診断後の治療方針決定が加速します。



地域連携室より

「顔の見える連携」を大切にしています。

当院では、紹介いただいた患者様の経過報告はもちろん、退院後の在宅復帰支援まで一貫してサポートいたします。

救急のご相談から転院調整まで、お気軽に地域連携室へご連絡ください。

患者様のご紹介、外来受診予約、転院のご紹介、相談員宛等の地域連携室宛のお問合せは、地域連携室直通の連絡先へお電話ください。



地域連携室
係長
すかわ なみこ
須川 奈美子



地域連携室
看護師
きた ゆき
喜多 由貴



地域連携室
事務
さわいり さちこ
澤入 幸子

お電話受付時間 [平日(月～金曜)9:00～17:00][第1・3・5土曜]9:00～12:00

直通TEL **0274-37-2060**

直通FAX **0274-22-2288**

Eメール relation@kusunoki-hp.com

当院からの情報発信(外来予定表改訂、広報誌発行等)をメールでお受取りになりたい場合は、上記メールアドレスへご連絡ください。